

# 令和7年度 学校評価報告

園 名	三 田 幼 稚 園
-----	-----------

## 1 教育目標

「げんきな子 考える子 やさしい子」

- ・活動を楽しみ、自己を発揮できる幼児を育てる
- ・自分なりの目当てをもって、粘り強くやりぬく幼児を育てる
- ・思いを伝え合い、相手を受け入れられる幼児を育てる

(八景中学校区共通目標)  
人も自分も学校(園)もふるさと大切に  
～自分を大切にでき、自分のことは自分でしようとする子～

## 2 重点目標

「やってみよう 考えよう つながろう」

～多様性に気付き、育ち合うための  
教師の援助や環境構成を探る～

## 3 自己評価結果

分野・領域	評価項目	幼稚園の取組状況・改善の方策
教育課程	○幼児の主体性を大切にした保育活動の工夫と保育内容の充実 ・幼児一人一人が主体的に遊び込める環境構成や援助の工夫 ・幼児が安心して自分の思いを出し、伝え合い、認め合いながら生活を進めていくための援助や環境構成の工夫 ・3歳児4歳児5歳児が関わり合い、共に育ち合える環境の充実 ・幼児一人一人の育ちや課題に応じた関わりや環境の工夫	こども一人一人の興味や思いを大切に受け止め、主体的に活動できる環境や活動内容の工夫に取り組み、遊びの広がりや深まりを支える援助を心掛けてきた。併せて、職員間での振り返りを通して主体性、多様性を育む保育内容の改善に努め、保育の充実を図ってきた。 今後も、こども達が安心して自分の思いを表現し、挑戦できる環境を整え、主体性や粘り強さを育てていけるよう、努めていきたい。
子育て支援	○親子の触れ合いや、親同士、こども同士の交流の場としての役割や機能の充実 ・安心して集える場づくりと情報発信の工夫 ・未就園児とその保護者への支援や、園児との交流内容の工夫	計画していたことを全て実施することができた。今年度より、保育時間中に未就園児の園庭開放を実施したことで、参加された保護者が園生活の様子を身近に感じ、日々の保育や活動について知ってもらい良い機会となった。
校園所連携	○幼児の育ちと学びをつなぐ保幼小中連携の推進 ・保幼小交流内容の工夫 ・教職員連携の推進 ・中学校区連携推進への参画	教師間の連携、こども同士の交流を通して、こどもの育ちや各園所校での取り組みを共有し、縦と横の連携と、学びをつなげていくことの大切さについて理解し合うことができた。
保護者・地域との連携	○園やふるさとを大切にする豊かな心の育成 ・園の取り組みやこどもの育ちの情報発信の工夫 ・地域と連携した体験活動の工夫	こども達の様子や育ちを丁寧に伝える工夫を行い、保護者との信頼関係づくりに努めることができた。 地域の施設との交流や、栽培活動を通して地域とのつながりを深め、温かく見守られる環境づくりを進めることができた。
安全管理	○安心・安全な園づくりの推進 ・幼児が安心して過ごせる園環境の見直しと点検 ・幼児の安全確保に向けた職員体制の徹底	改修工事中は、こどもの安心、安全を第一に考え、関係機関と連携しながら職員間の動きや役割を確認し、日々の点検重視に努めることができた。

## 4 学校関係者評価

- ・こども達が主体的に生き生きと活動する姿があり、行事の度に逞しく成長していることが感じ取れ嬉しく思う。  
・3学年が関わり合える環境の工夫がされており、幼稚園での縦のつながりが、小学校に進学しても継続している姿が見られ、共に育ち合っていることを感じる。  
・一人一人のありのままを受け止め、多様性を大切にした保育実践がされている。今後もこどもの多様性を大切にした保育に期待したい。
- ・地域の親子が安心して集える場となるよう、今後も地域に開かれた子育て支援の充実に期待したい。
- ・教師間の連携とこども同士の交流を通して、学びをつなぐ取組が意識されていることが分かる。今後も八景中学校区のこども達の幸せにつながる連携に期待している。
- ・タイムリーに写真を掲示してもらい、行事では見られない普段の様子を見られることが嬉しい。  
・降園時にこども達のエピソードが聞けることが嬉しく、楽しみにしている。今後も続けてほしい。  
・地域ボランティアとして、今後も見守っていきたい。
- ・工事中の保育は大変だったと感じるが、工事の環境もうまくこども達の遊びにつなげ、怪我や事故なく過ごせてよかったと思う。

(別紙様式 2)

## 5 総合的な評価結果

今年度は、大規模改修工事中の保育環境において、安全面への配慮や、保護者の方のご理解とご協力により、安心して教育活動を進めることができた。また、教育課程に基づいた保育実践や、子ども一人一人の主体性、多様性を大切にした関わりを通して、子ども達が意欲的に活動し、のびのびと成長する姿が多く見られた。今後も、保護者や地域の方々の協力を得ながら、3年の発達を見通した多様な体験を工夫し、より充実した教育、保育の実現に向けて改善と工夫を重ねていきたい。

## 6 総合的な学校関係者評価

こどもの主体性や多様性を大事にした保育が実践され、子どもが意欲的に活動し、のびのび成長できる環境が整えられている。3年間の発達を見通した保育の工夫もされ、子ども達が安心して自己発揮できていることが、保護者アンケートの評価からも読み取れる。

今後も子ども同士が育ち合うための環境づくりの更なる充実を期待したい。